

徹底解説！DX成功企業に共通していることとは？
～ 文書管理を柱としたDX基盤の重要性 ～

デジタルトランスフォーメーションを加速する文書情報マネジメント

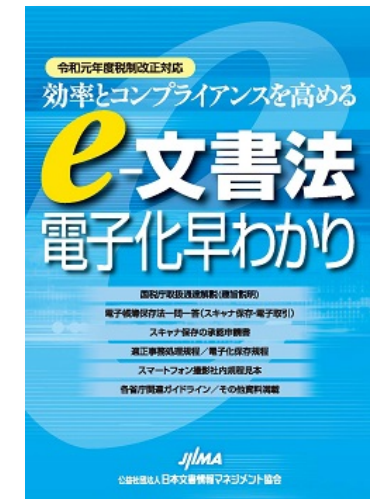
～JIIMAビジョン2020～

2021年6月22日

公益社団法人日本文書情報マネジメント協会
Japan Image and Information Management Association (JIIMA)
理事長 勝丸 泰志

文書情報マネジメントの普及啓発

- ◆ 文書情報マネジメントの標準化(日本規格協会より受託)
JIS(日本産業規格)原案作成
ISO/TC171国内審議
- ◆ 文書情報管理士並びに文書情報マネージャーの資格制度運用
- ◆ 文書情報マネジメント関連の政策提言及び法的規制の緩和推進
- ◆ 文書情報マネジメント関連製品の法的認証
- ◆ 文書情報マネジメントに関する調査研究
- ◆ 文書情報マネジメントに関する参考書・テキスト類の編集発行
- ◆ 文書情報マネジメントに関する各種セミナーの開催
- ◆ 機関誌「IM」編集発行



文書情報管理士
検定試験

2021夏試験

申込期間 2021年6月20日~8月15日
試験期間 2021年7月20日~8月31日

概要はこちら>>

新JIIMA認証制度スタート!
申請受付中です。

010101
JIIMA
101010
電子取引ソフト
法的要件認証
令和2年改正法令基準

電子取引ソフト
法的要件認証

電子書類ソフト
法的要件認証

電子書類ソフト
法的要件認証

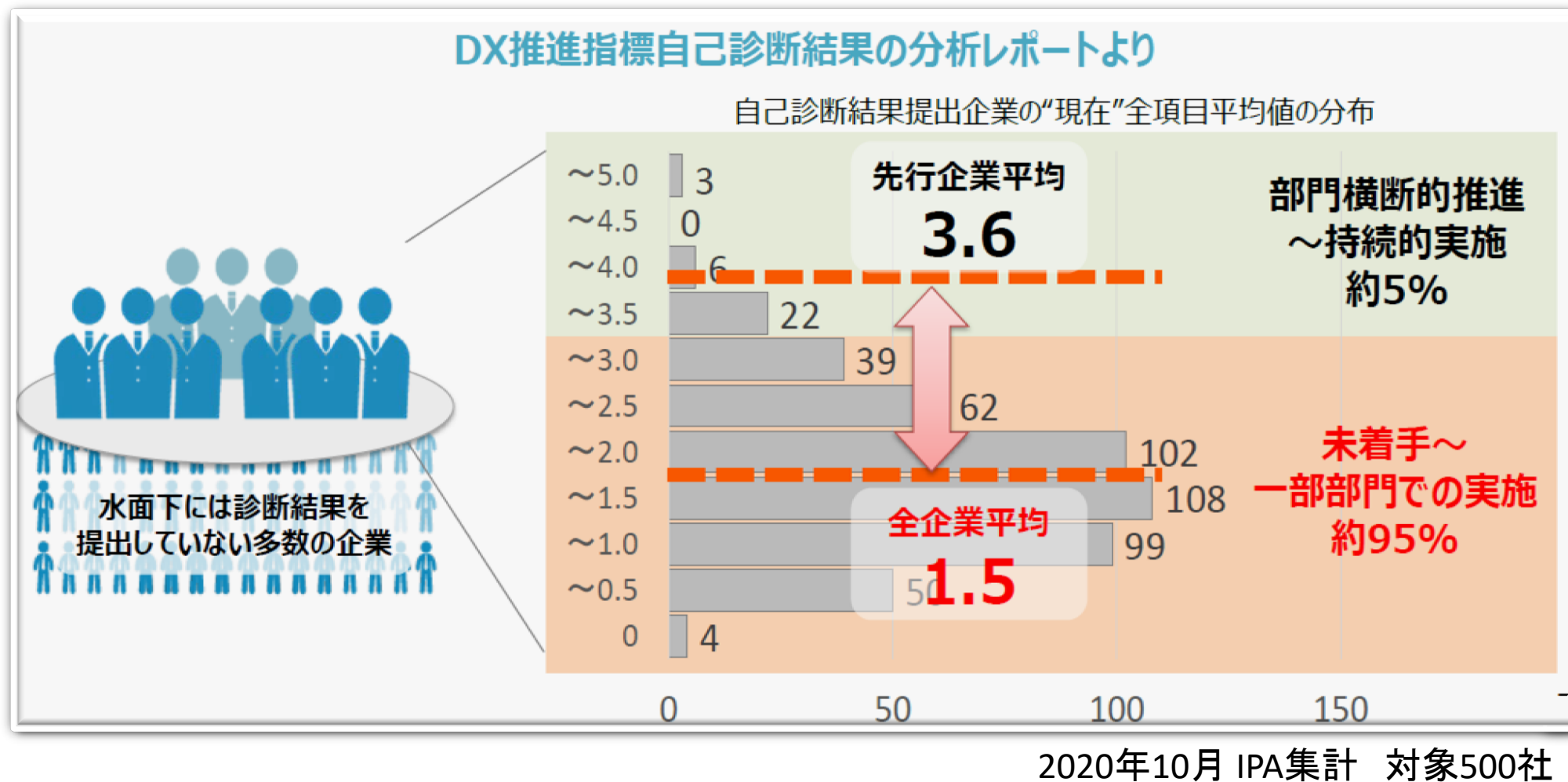
概要はこちら

- I. 文書情報マネジメントに関連する環境認識
- II. 文書情報マネジメントとは
- III. JIIMAビジョン2020

I . 文書情報マネジメントに関連する 環境認識

- デジタルトランスフォーメーション
- ICT活用(クラウド、AI、IoT)

DX推進指標自己診断結果の分析レポートより



経済産業省 「DXレポート2(中間取りまとめ)」より

コロナ禍で明らかになったDXの本質

コロナ禍で見られた事象

- ① 事業環境の変化に迅速に適応できた企業と、そうでない企業の差が開いている
- ② 押印、客先常駐、対面販売など、これまでは**疑問を持たなかった企業文化（業務・慣習）が変革の阻害要因**に
→先送りしてきた課題がコロナ禍により一気に表出

コロナ禍で明らかになったこと

「素早く」変革「し続ける」能力を身に付けること、その中では**ITシステムのみならず企業文化(固定観念)を変革することの必要性**が明らかに(DXの要)

DXは、ITシステム更新の問題から企業文化刷新の問題へ

我が国におけるDXが進まない現状

WGで挙げた意見：我が国におけるDXが進まない現状

- WGで挙げた意見として、我が国におけるDXの停滞要因は、各ステークホルダー間での対話不足を起因とした課題等にまとめることができる

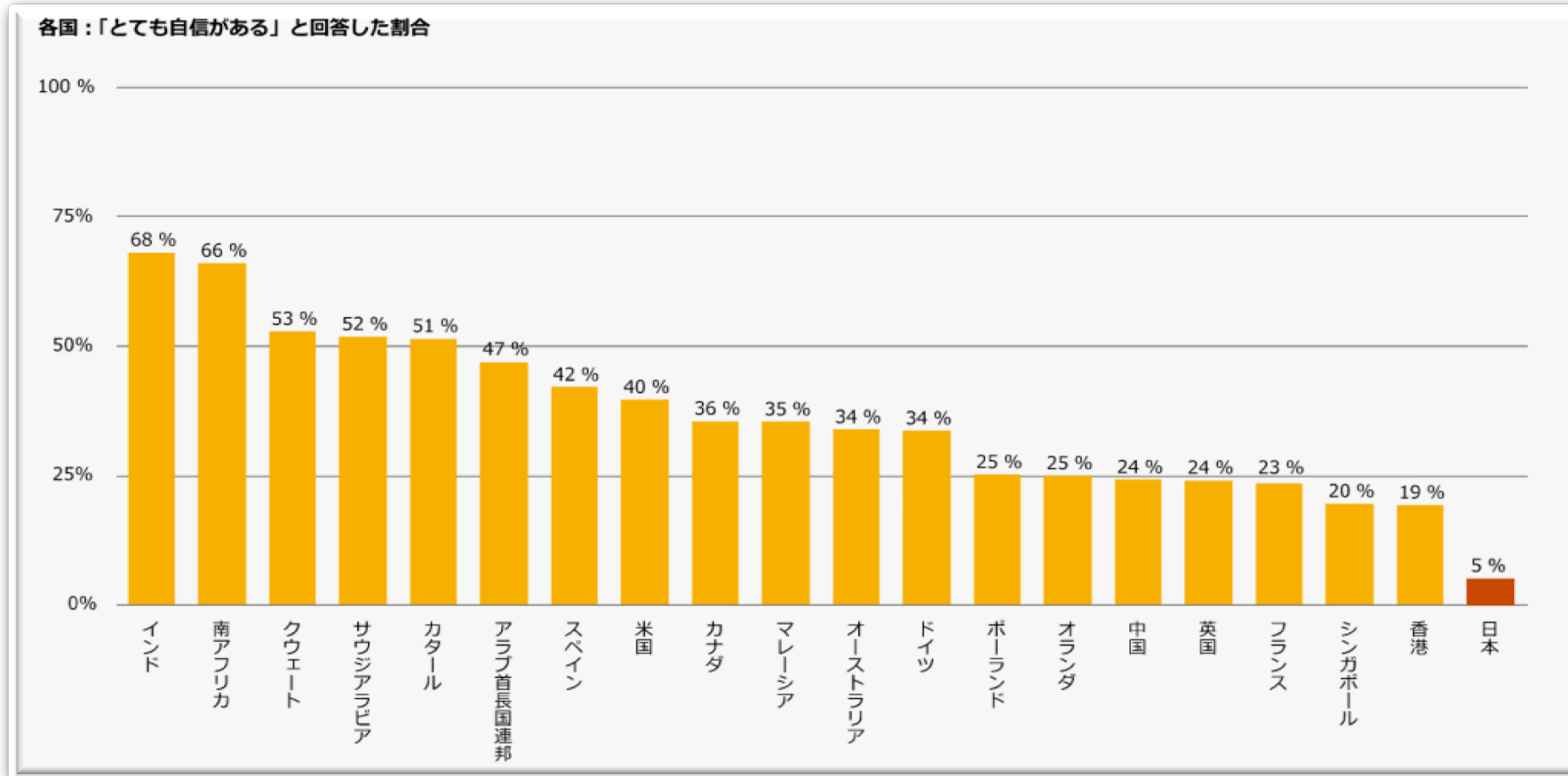
		Why DXの目的が分からない	What どうすればDXになるのかが分からない	How DXの進め方が分からない
社内	経営層	経営者がビジョンを描けていない (経営者の成熟度、マインドが異なる)	DXという言葉は知っているが、DXの狙いを理解していない	DXの取組がPoCどまり(仮説検証の失敗理由を深堀りしていない)
	CIO CDO	経営者がIT・デジタルの重要性・取り組み意図を理解できていない	デジタルが目的化している	DX推進に必要な体制が不十分
		本来DX推進を担うべきCIO/CDOに権限や役割が与えられていない	DXの役割分担や範囲が不明確	自社特有の事情を含めて検討できず、他社事例をそのまま適用
	事業部門	オーナーシップを持たず、IT部門に丸投げしている	DX推進の号令が具体的な指示に落とし込めていない	
社内	事業部門	部門ごとに「DXでやりたいこと」がバラバラ(組織としての方向性が無い)	全社横断的な取組ができていない(個別部門ごとの対応)	
		IT部門でしかやっていない(事業部門とのコミュニケーション不足、経営層の意向を汲んでいない)	使いたい技術ありきになってしまってビジネスの話が出ない	
	IT部門	DXとはどのようなものか解釈・企画する人材が少ない	既存システムの仕様が不明確	既存システムをどこから切り崩せばいいかわからない
社外	外部関係者 (ベンダ・コンサル等)	DXにおいても御用聞き(受け身体質)になっている	システム刷新自体が目的化(再レガシー化の原因へ)	
		経営者自身の言葉でDX、デジタルビジョンを発信していない	自身のITシステムを把握しないまま、結果として、ベンダ企業に丸投げ	オープンイノベーション等外部を巻き込んだ取組方法が分からない

**Why
DXの目的が分からない**

社内	経営層	経営者がビジョンを描けていない (経営者の成熟度、マインドが異なる)
	CIO CDO	経営者がIT・デジタルの重要性・取り組み意図を理解できていない
		本来DX推進を担うべきCIO/CDOに権限や役割が与えられていない
	事業部門	オーナーシップを持たず、IT部門に丸投げしている
社内	事業部門	DXとはどのようなものか解釈・企画する人材が少ない
		DXにおいても御用聞き(受け身体質)になっている
社外	外部関係者 (ベンダ・コンサル等)	経営者自身の言葉でDX、デジタルビジョンを発信していない

「デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会WG1 全体報告書」より

職場に導入される新たなテクノロジーの活用に応応できる自信がどの程度ありますか



対象：世界19カ国、32,500人

調査ベース：グローバルの回答者32,517名、日本の回答者2,001名

出典：PwC Japanグループ「デジタル環境変化に関する意識調査 2021年度版(日本の調査結果分析)」より

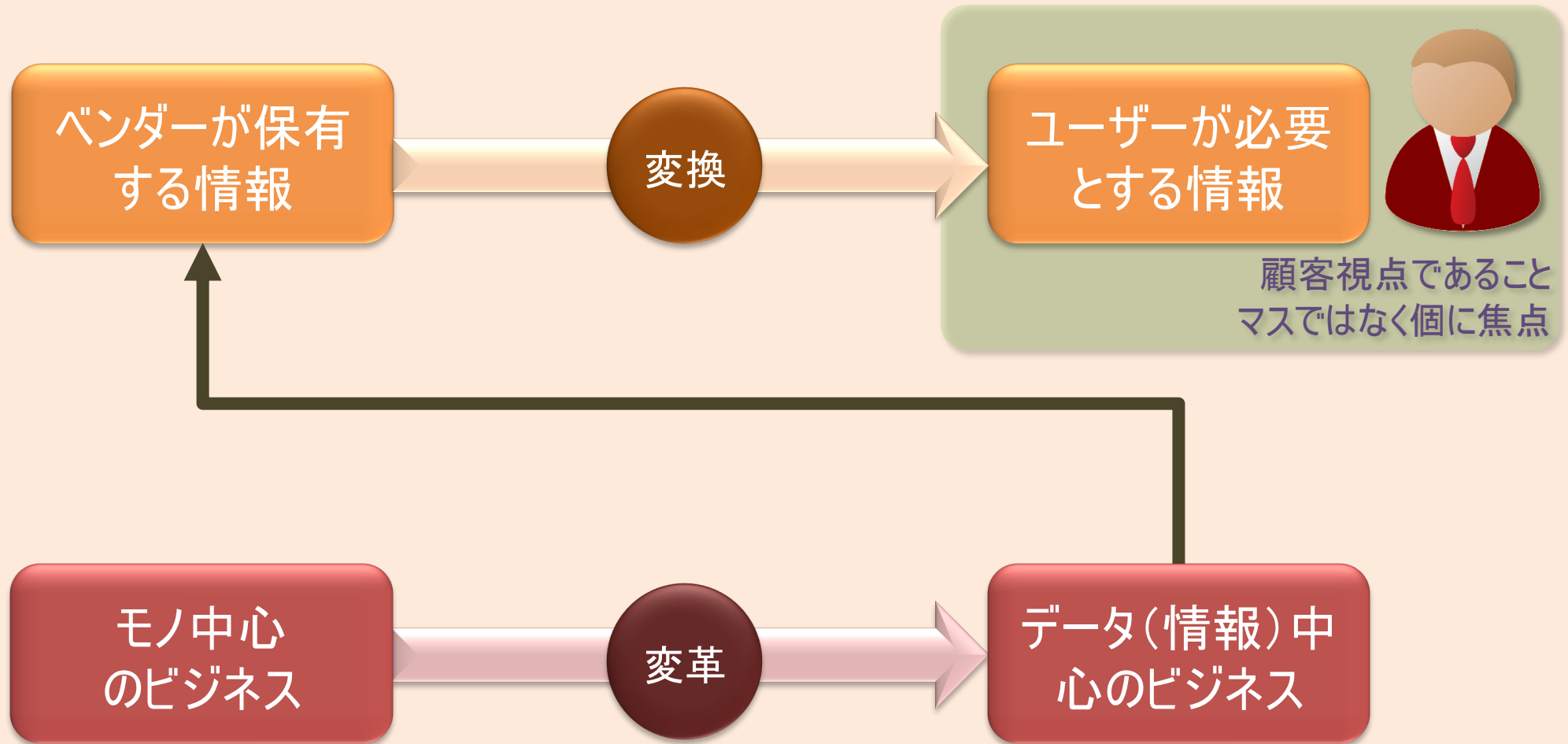
■ 技術面から見たDX ～高度な情報の利活用～

- 見えなかったものが見え、把握できなかったことが把握でき、事実に基づいて意思決定
- 匠の技をデータ化し、ものづくりを革新
- 顧客情報とマーケティングを連動させ営業プロセスを革新
- あらゆるものをデータ化し、リアルの活動を支援・強化

■ 情報面から見たDX ～高度な情報管理～

- 自社（自組織）が保有する価値ある情報やデータを特定
- 自社（自組織）が保有すべきだが不足する情報やデータを特定
- それらの情報やデータを適切に管理

従業員の意識改革



クラウドストレージの利用

- 個人利用か情報共有か
- 個人管理か組織管理か

保存場所を意識しているか

AIの実用化

- 自然言語への適用
- 学習データの整備

AIが作成した文書の責任は誰にあるか

IoT利用

- データの標準化
- 外部連携可能

部分最適では役に立たない

クラウドストレージの利用

- 個人利用か情報共有か
- 個人管理か組織管理か

保存場所を意識しているか

AIの実用化

- 自然言語への適用
- 学習データの整備

AIが作成した文書の責任は誰にあるか

IoT利用

- データの標準化
- 外部連携可能

部分最適では役に立たない

クラウドストレージの利用

- 個人利用か情報共有か
- 個人管理か組織管理か

保存場所を意識しているか

AIの実用化

- 自然言語への適用
- 学習データの整備

AIが作成した文書の責任は誰にあるか

IoT利用

- データの標準化
- 外部連携可能

部分最適では役に立たない

クラウドストレージの利用

- 個人利用か情報共有か
- 個人管理か組織管理か

保存場所を意識しているか

AIの実用化

- 自然言語への適用
- 学習データの整備

AIが作成した文書の責任は誰にあるか

IoT利用

- データの標準化
- 外部連携可能

部分最適では役に立たない

ICT活用がもたらしかねない文書管理軽視傾向



意思決定に至るエビデンスはどこにあるか？



『「デジタル時代の新たなIT政策大綱」令和元年6月7日 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部 官民データ活用推進戦略会議』より

規則に盛り込まれているか

適応範囲は明確か(紙文書・電子文書)

機密区分とアクセス権限は一致しているか

原本と複製は区別されているか

承認済み文書と作業中文書は区別されてるか

運用に曖昧さはないか

Ⅱ．文書情報マネジメントとは

現時点ではJIS Z6015:2016を採用

文書情報を真正に維持、保存、廃棄及び長期保存する組織的な運用。

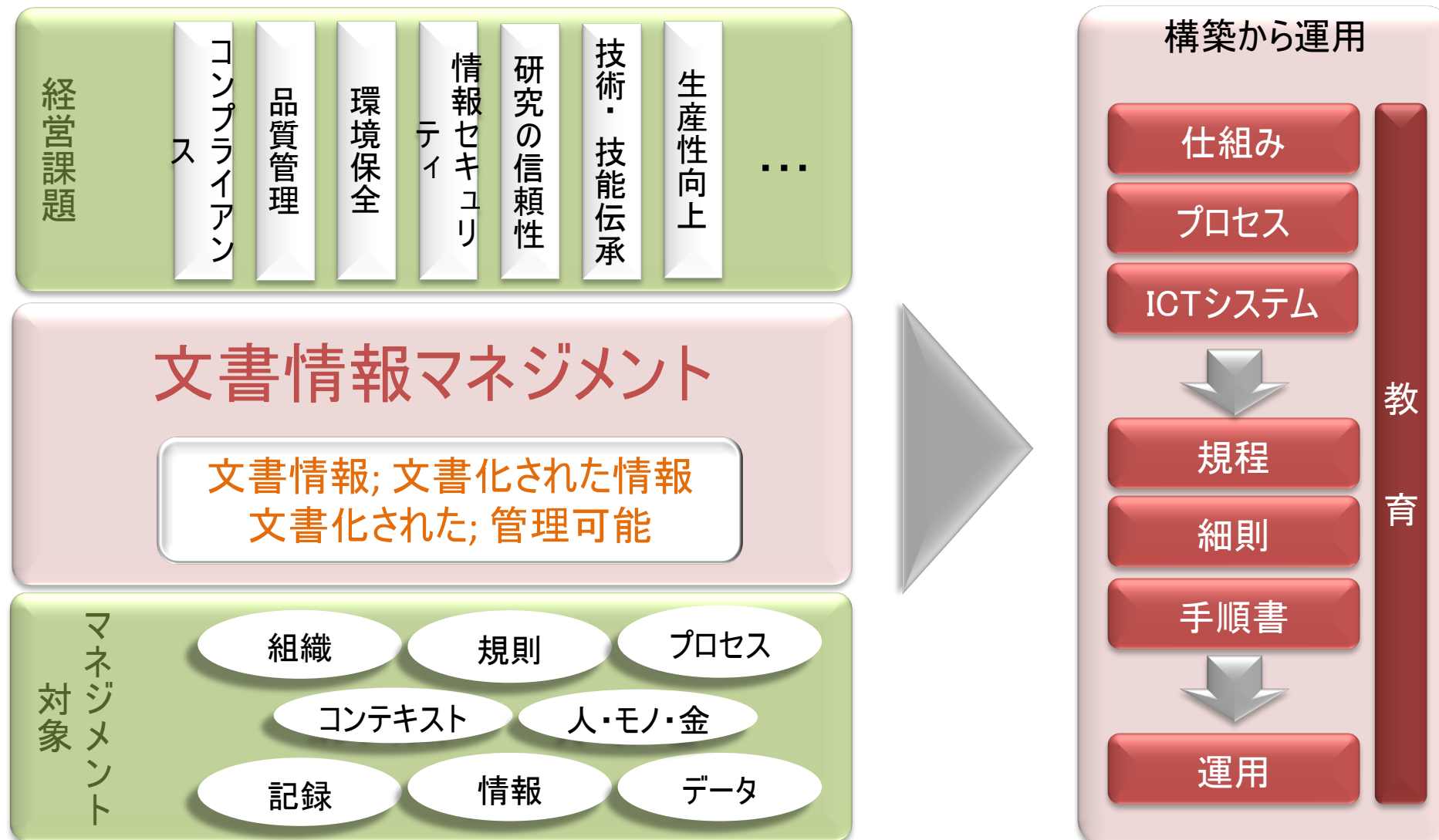
JJIMAによる補足

文書情報の作成・取得段階から、保管・保存・再利用・廃棄までのライフサイクル全体を通じて、確実かつ効率的に管理するための手段として、構造化データ、非構造化データを問わず、ハード・ソフト・コンテンツを機能的に組み合わせ、目的に応じて文書情報を有効に活用できるようにする。

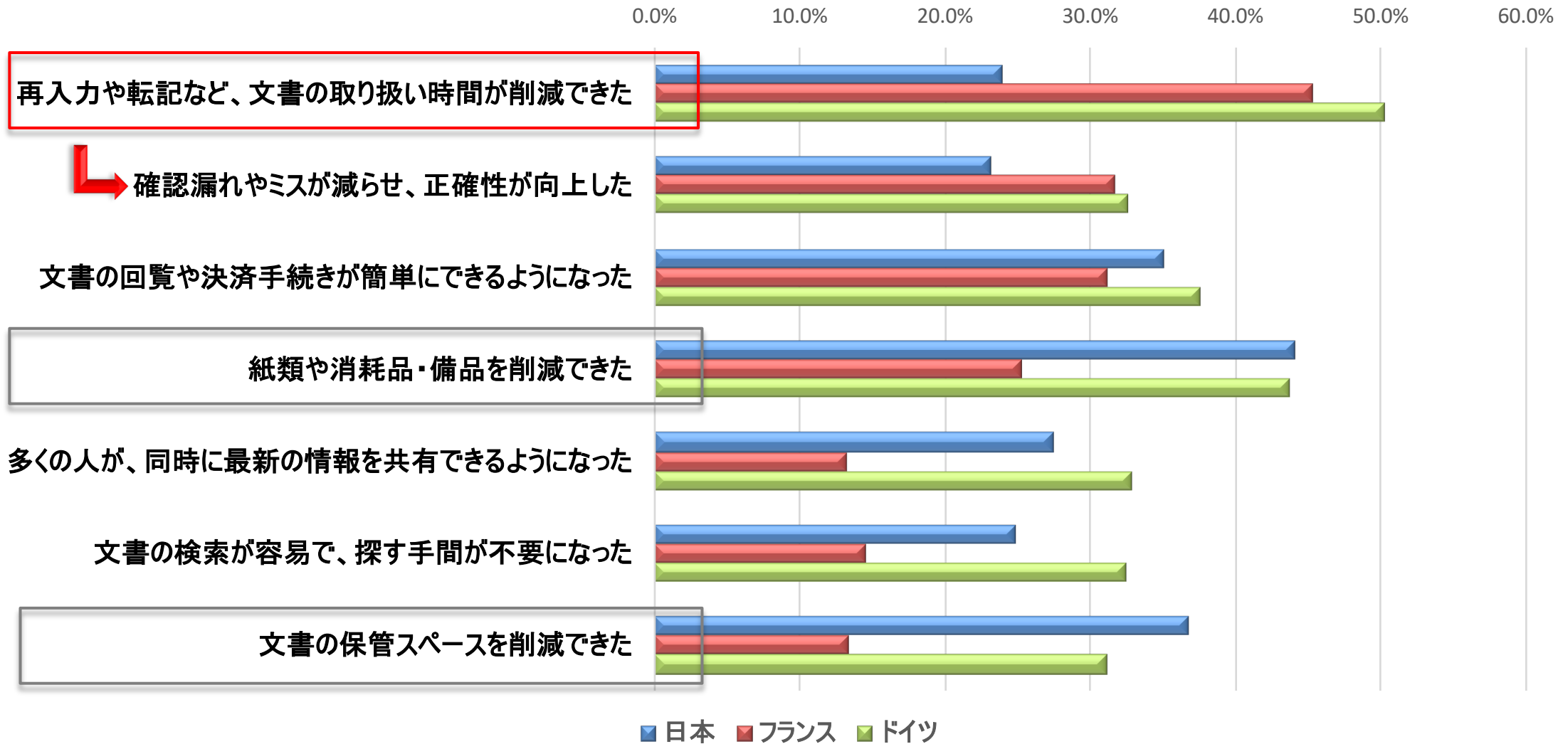
定義拡張の必要性

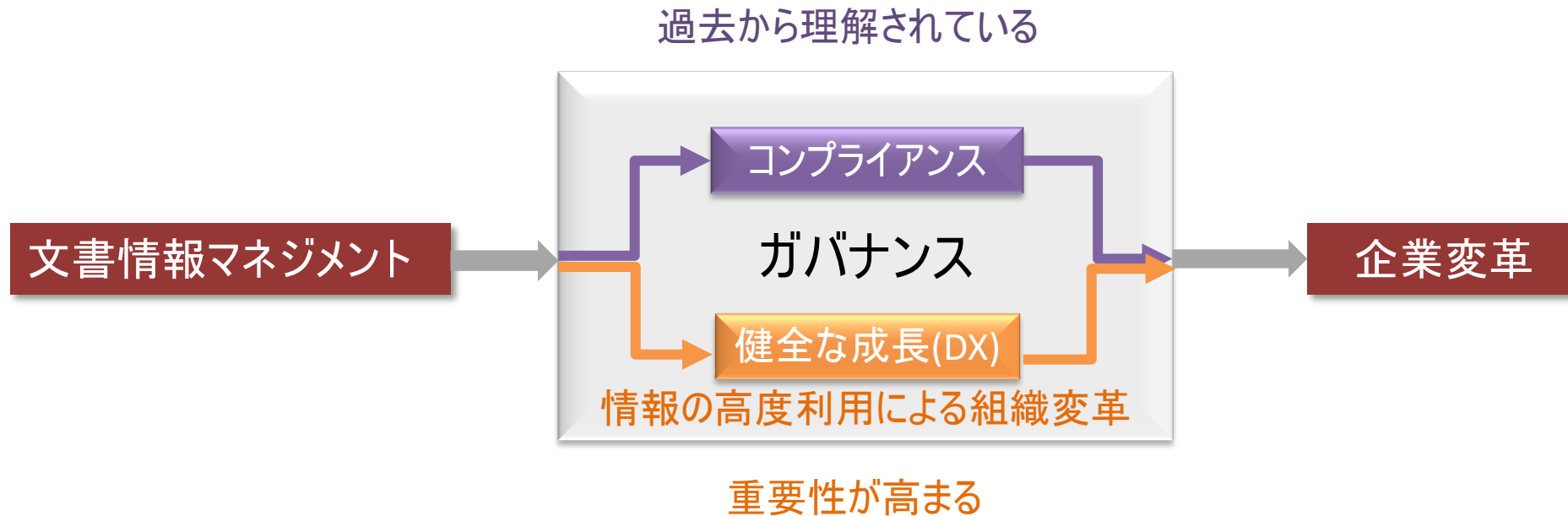
- 組織内の文書管理から組織間を流通する文書の管理へ
- クラウド上で共有される文書の管理責任

組織活動における文書情報マネジメントの位置づけ



文書の電子化により得られた効果/期待される効果





- ① 説明責任を果たす（コンプライアンス強化）
- ② 危機管理を行う（持続可能な組織をつくる）
- ③ 組織が持つ価値の管理を行う（組織の存在目的達成）

文書情報マネジメント実践のための人材育成



文書情報管理士
検定試験

2021夏試験

申込期間 2021年6月20日～8月15日
試験期間 2021年7月20日～8月31日

[概要はこちら>>](#)



文書情報マネージャー 認定セミナー

新型コロナ対策には、テレワーク対応、ペーパーレスも必要です。
その先のDX実現のために、セキュリティ・コンプライアンスだけ
でなく総合的な取組みには文書情報マネジメントが必要です。

2021年9月9日(木)・10日(金)

Ⅲ. JIIMAビジョン2020

日本のあらゆる組織の価値を高めるために、
文書情報マネジメントの実践を通じて
デジタルトランスフォーメーションを加速するようにリードする協会

ビジョン実現で狙う社会への貢献

社会への貢献

環境変化からの示唆

- ①事業継続、企業継続、企業等の価値向上
- ②ライフスタイル変革、ワークスタイル変革
- ③コミュニケーションの質向上
- ④社会の効率化
- ⑤物理的な束縛がない
- ⑥デジタル技術によるサポート

ビジョン実現を通して社会に貢献すること

効率的で持続可能であって、
すべての人が必要な時にデジタル技術の支援を得て、
自由な働き方を選択し、
時間や場所の制約なく仕事ができ、
効率的でかつ人間らしい生活を送れる社会の実現

JIIIMAビジョン

ビジョン・ステートメント

日本のあらゆる組織の価値を高めるために、
文書情報マネジメントの実践を通じて
デジタルトランスフォーメーションを加速するようにリードする協会

文書情報マネジメントが機能している状態

- ① 業務管理、知識管理、危機管理が適切に行われ、それらが組織文化として定着している
- ② 文化を育てる、歴史を残す、事実を残す、知恵を蓄えることを重視している
- ③ 文書情報マネジメントを重視する文化は、
 - 新常態においても新たな付加価値を創出している
 - 未来に期待が持てる社会を形成することに寄与する

デジタル時代とは、情報を高度に利活用する時代

ビジョン・ステートメント

日本のあらゆる組織の価値を高めるために、
文書情報マネジメントの実践を通じて
デジタルトランスフォーメーションを加速するようにリードする協会

文書情報マネジメントが機能している状態

- ① 業務管理、知識管理、危機管理が適切に行われ、それらが組織文化として定着している
- ② 文化を育てる、歴史を残す、事実を残す、知恵を蓄えることを重視している
- ③ 文書情報マネジメントを重視する文化は、
 - 新常態においても新たな付加価値を創出している
 - 未来に期待が持てる社会を形成することに寄与する

デジタル時代とは、情報を高度に利活用する時代

皆様の文書情報マネジメント強化に役立つ活動を続けてまいります

ご清聴ありがとうございました！

公益社団法人日本文書情報マネジメント協会

<https://www.jiima.or.jp/>